

Be Fine!

株主の皆様とシスメックスをつなぐコミュニケーション誌

特集

ヘマトロジー最前線!

フラッグシップモデルを徹底解説…… 5ページ



明石海峡大橋（神戸市・淡路市）

IFRS ※当社グループは2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。
 ※2022年3月期に、クラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのコストについて、サービスを受領したときにそのコストを費用として認識する方法に変更しており、遡及処理の内容を反映させた数値で2021年3月期および2022年3月期との比較を行っています。

▶ 事業概要や決算内容を社長が語る動画を、IRウェブサイトでご覧ください。



円安の影響もあり、全地域・全分野で増収。
 過去最高の売上高と
 四半期利益*を達成しました。

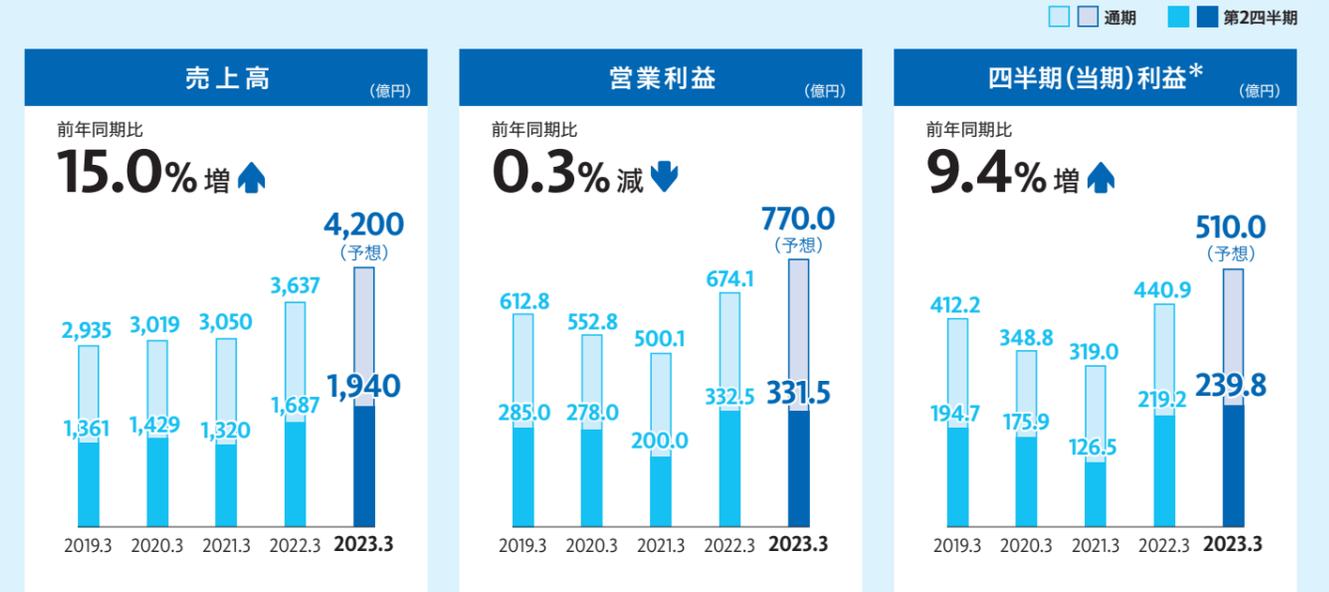


代表取締役会長兼社長 CEO

家次恒

いえつぐ ひさし

【出身地】大阪【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亜医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)に入社。1996年代表取締役社長、2013年代表取締役会長兼社長を経て、2018年に現職に就任。【趣味】読書、スポーツ観戦【信条】「意あらば通ず」



ポイント1 米州・EMEA*・AP・日本が好調に推移したうえ、円安効果もあり、売上高は2桁増収

ポイント2 営業利益は、世界的なインフレによるコスト増加などにより横ばい

当社グループの2023年3月期 第2四半期の業績は、機器設置台数の増加に伴い、主にヘマトロジー分野*、尿検査分野における試薬の売上が増加したことに加え、円安効果もあり、2桁増収を達成しました。一方、営業利益は、世界的なインフレに伴う原材料費、輸送費の高騰により、売上原価が増加したため、横ばいとなりましたが、四半期利益は、為替差益のプラス効果もあり、増益となりました。売上高は前年同期比15.0%増、営業利益は同0.3%減、四半期利益は同9.4%増となりました。なお、前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比2.8%増、営業利益は同18.3%減となります。

事業別で見ると、ダイアグノスティクス事業は円安の効果もあり、すべての検査分野で増収を達成しました。メディカルロボット事業は、手術支援ロボットシステムを新たに上期累計10台導入し、売上高は同253.9%増となりました。なお、株式会社メディカロイドが2022年10月、同手術支援ロボットの消化器外科および婦人科への適応承認を取得しました。

シスメックスはグローバル総代理店として、今後さらに市場導入を加速するとともに、海外展開も推進していきます。

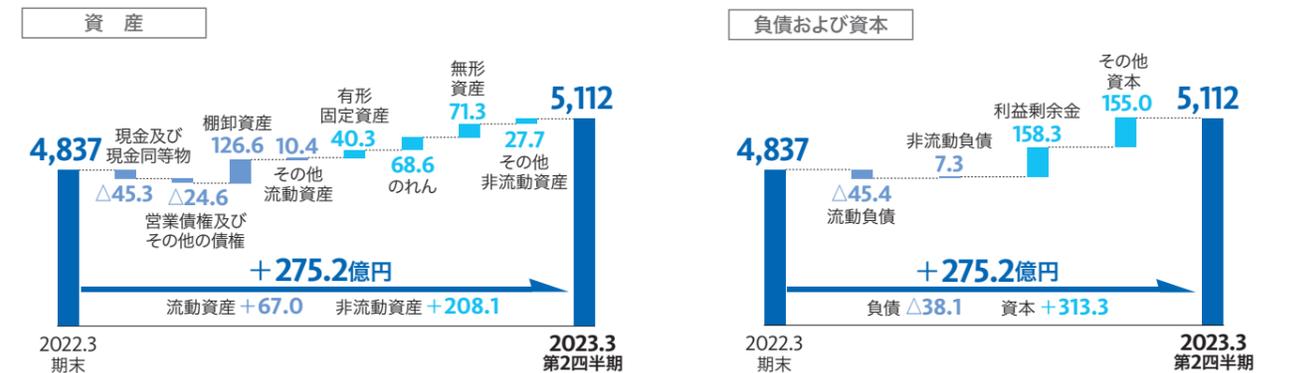
2023年3月期の連結業績予想につきましては、期初想定に比べて円安に推移している状況を踏まえ、想定為替レートを見直し、業績予想を上方修正しました。売上高は4,200億円、営業利益は770億円、当期利益は510億円を見込んでいます。

配当につきましては、期初予想通り、1株につき年間で80円(中間40円、期末40円)を予定しております。

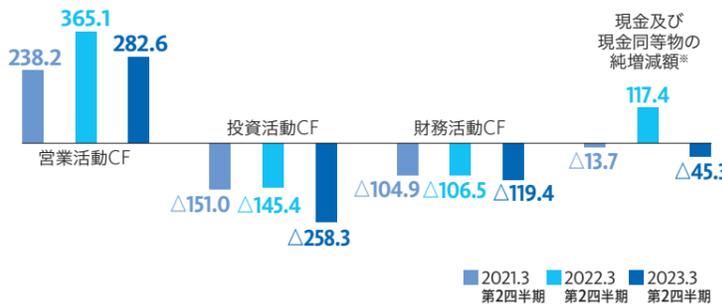
ステークホルダーの皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

	■2023年3月期通期業績予想 (億円)			■想定為替レート (円)		
	売上高	営業利益	当期利益	1USDドル	1ユーロ	1中国元
2022年11月発表	4,200	770	510	139.5	140.4	19.9
2022年5月発表	4,100	760	500	120.0	130.0	18.0
【参考】2022年3月期実績	3,637	674	440	112.4	130.6	17.5

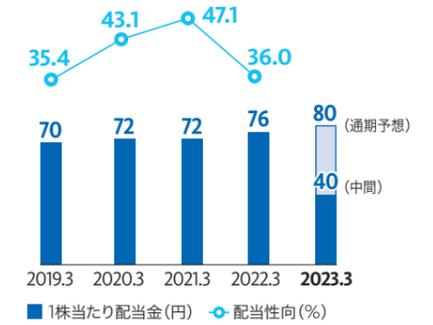
連結財政状態計算書の増減要因 (億円)



キャッシュ・フローの推移 (億円) ※現金及び現金同等物に係る換算差額も含まれております。



1株当たり配当金/配当性向



利益配分(配当)に関する考え方について：当社は、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

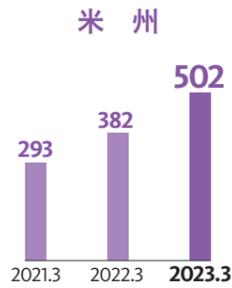
*四半期(当期)利益：親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益。

*EMEA：欧州、中東、アフリカ地域

*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

IFRS ※当社グループは2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

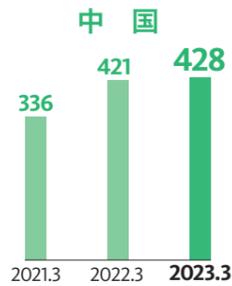
地域別売上高 (億円)



前年同期比 **31.5%増** ↑
 現地通貨ベース **7.6%増**
 北米に加え、ブラジルを中心に中南米も好調に推移。ヘマトロジー・尿検査分野において、機器・試薬が伸長し、増収



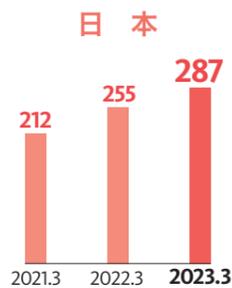
前年同期比 **12.1%増** ↑
 現地通貨ベース **5.8%増**
 イタリアの尿検査分野やトルコなど直販エリアの血液凝固検査分野において、機器が伸長した他、ヘマトロジー分野*の試薬も好調に推移し、増収



前年同期比 **1.7%増** ↑
 現地通貨ベース **13.5%減**
 第2四半期はロックダウンの影響緩和により検査需要が回復。試薬を中心に伸長し、増収

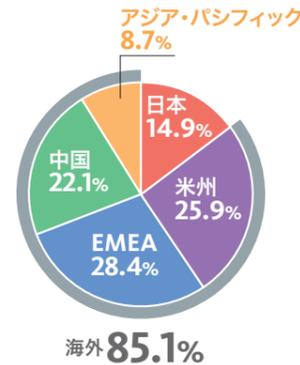


前年同期比 **24.6%増** ↑
 インド、ベトナム、韓国などで機器設置台数増加に伴う試薬売上が伸長した他、尿検査分野も伸長し、2桁増収



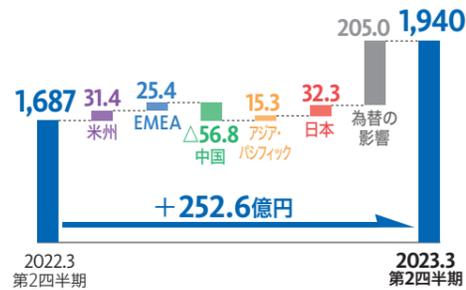
前年同期比 **12.7%増** ↑
 COVID-19関連検査が増加し、試薬売上は免疫・血液凝固検査分野を中心に伸長。これに加え、ヘマトロジー分野の機器やメディカルロボット事業が伸長し、増収

地域別売上高構成比



地域別売上高の増減 (億円)

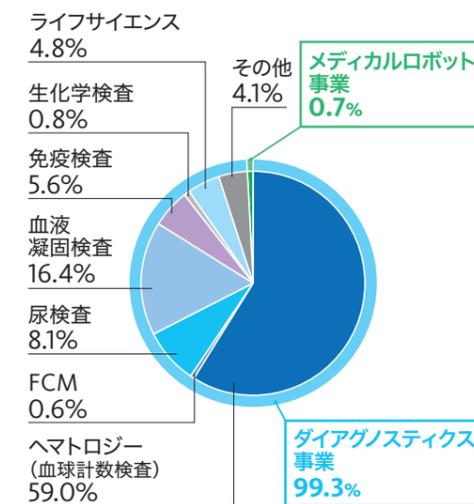
※各地域の売上高は為替の影響を除く



■為替レート(期中平均) (円)

	2021.3 第2四半期	2022.3 第2四半期	2023.3 第2四半期
1 USドル	106.9	109.8	134.0
1 ユーロ	121.3	130.9	138.7
1 中国元	15.3	17.0	19.9

事業別売上高構成比



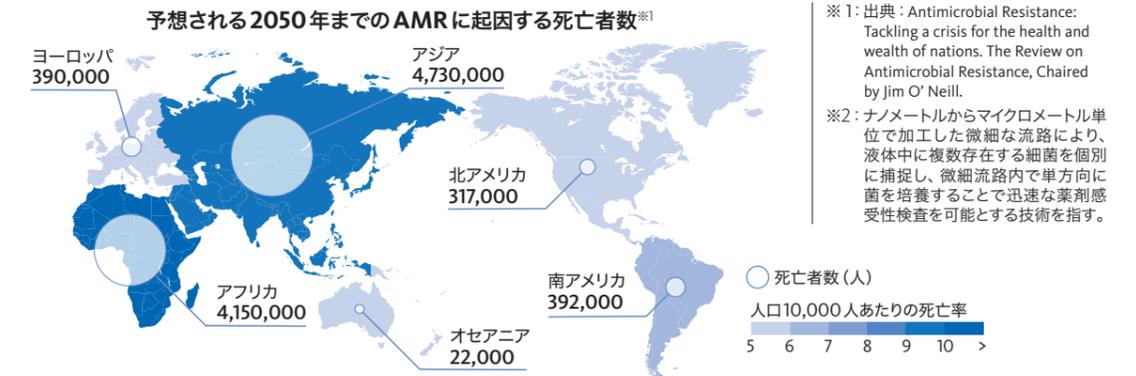
NEWS

AMR対策の推進に向けて、Astrego社を子会社化

薬剤耐性 (AMR: Antimicrobial Resistance) とは、一般的に抗生物質や抗生剤と呼ばれる「抗菌薬」の不適切な使用などによって、抗菌薬が効きにくくなる、または効かなくなる状態のことです。AMRに起因する死者数は、対策をしない場合、2050年には世界で年間1,000万人*1を超え、がんによる死者数を上回ると推定されており、世界的な課題となっています。

例えば、感染症の一つである尿路感染症は、発熱などの症状に基づいて投薬が行われるケースが多く、適切な抗菌薬を選択するために、医療現場での迅速なスクリーニング検査が必要です。患者さんが感染している細菌の種類や薬剤耐性の有無を調べることで、効果的な抗菌薬の投与が可能となります。

シスメックスは、2022年5月に薬剤耐性菌に関する検査を開発しているスウェーデンのAstrego社(現 Sysmex Astrego AB) を子会社化しました。Astrego社は、短時間で薬剤感受性検査を可能とする、独自のマイクロ流体技術*2を保有しています。今後はAMR対策に向けて、臨床実装および、さらなる診断技術の開発に取り組んでいきます。



2040年カーボンニュートラル宣言

2022年5月、シスメックスグループの事業所から排出される温室効果ガス排出量を2040年までに実質ゼロにする「カーボンニュートラル目標」を設定しました。シスメックスはこれまでも、CO₂排出量や水消費量の削減に向けたKPIを設定し、毎年度実績を開示するなど、環境への取り組みを積極的に推進してきました。今後も、オペレーションの効率化や省エネ施策を推進するとともに、事業所の消費電力を再生可能エネルギー由来に段階的に切り替えるなど*3、環境保全の取り組みを加速させます。

対応するSDGsテーマ

- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 再生可能エネルギー
- 12 つるぎある消費
- 13 気候変動に具体的な対策を

ビル・ゲイツ氏と共にグローバルヘルスの課題を発表

2022年8月、アフリカ開発会議「TICAD8」の公式サイドイベントが開催され、グローバルヘルスを応援する有志11社が特別ゲストのビル・ゲイツ氏と「グローバルヘルス・アクション」を発表。シスメックスはマラリアのない世界の実現に挑戦する意思を表明しました。

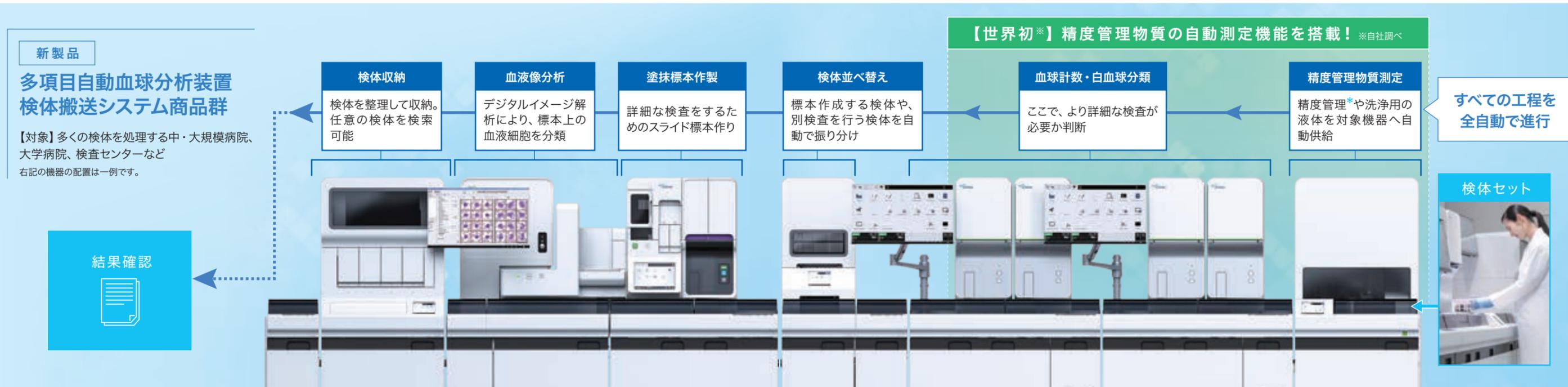
ビル・ゲイツ氏のコメントは、こちらからご視聴いただけます▶



3 *EMEA: 欧州、中東、アフリカ地域。
 *ヘマトロジー分野: 血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

ヘマトロジー最前線！ フラッグシップモデルを徹底解説

病院や健康診断などで行われる「血液検査」。ここで活躍しているのが、ヘマトロジー（血球計数検査）分野の製品です。ヘマトロジー検査は、血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、今後精密な検査が必要かどうかを判断するもので、医療現場における最も基本的な検査と言えます。今回は、ヘマトロジー分野でグローバルシェアNo.1のシスメックスが誇る、最新の検査システムを深掘りしてご紹介しましょう。



搬送システムが提供する価値

シスメックスは、ヘマトロジー分野において、1990年に世界で初めて塗抹標本作成までを自動化した搬送システムを開発。以降、手作業を徹底的に減らして自動化を実現することで、人件費の抑制に加え、検体取り扱い時の感染リスク軽減や検体の取り違い防止にも貢献しています。

現場の声



東日本営業本部
仙台支店 盛岡営業所
我妻 陽介

Q お客様からはどのようなニーズがありますか？

厚生労働省が掲げる地域医療構想の下、日本の地域医療は施設ごとの役割分担が進み、検査室のニーズは施設によって異なります。さらに、医療の高度化やCOVID-19に関連する検査などにより、検査室の業務は複雑化・作業量過多の傾向にあるため、検査技師さんの負担軽減が求められています。

Q 今後はどのような価値提供を目指していますか？

地方病院の状況を踏まえ、多機能・高機能という臨床価値と、効率・コスト面の価値の双方を満たす検査が重要だと捉えています。新製品は、手作業が当然とされていた業務を自動化し、検査室の業務負担軽減と生産性向上を同時に実現します。この価値を提供することで、地域医療を支えていきたいと思っております。

新製品の主な特長

Point. 1 タッチフリーの実現による検査業務の効率化

医療現場における手作業を最小限にする「タッチフリー」を目指し、新たな測定装置と検体搬送システムを開発しました。新たな搬送システムは、「精度管理測定」の自動化を世界で初めて*実現するなど、検査業務の効率化に貢献します。その他、自動バックアップや再検査機能など、さまざまな自動化機能を搬送に組み込むことで、医療機関の業務効率化ニーズに応えることが可能となりました。



Point. 2 製品設計における環境への配慮

シスメックスでは、お客様が製品を使用される際のエネルギーや廃棄物の削減に貢献するため、機器の省電力化や試薬使用量の削減など、環境に配慮した製品開発に取り組んでいます。新製品は、従来システムに比べ処理能力を向上させただけでなく、小型化による省スペース化と消費電力の低減を実現しました。



※検体搬送システム商品群における従来機種比

今後の展望

2021年から段階的に国内で販売開始。今後は各国の許認可を取得し、海外へも製品・サービスをお届けしていきます。

*精度管理：検査機器の測定値を保証するための管理手法。お客様の検査機器が正しく機能しているかを確認すること。



フィギュアスケート壺井選手と契約締結

神戸を拠点に世界での活躍を目指して挑戦を続けるフィギュアスケート壺井達也選手。シスメックスはその想いに共感し、2022年6月に所属契約を締結しました。今後は三原舞依選手、坂本花織選手に加え、壺井選手の競技活動もサポートしていきます。



シスメックス所属フィギュアスケート選手の公式 Instagram は、[こちらから](#)▶



「統合報告書」と「サステナビリティデータブック」を発行

シスメックスの中長期的な価値創造についてご理解いただくため、財務・非財務情報を簡潔にまとめた「統合報告書」および、サステナビリティ情報に特化した「サステナビリティデータブック」を発行しました。



シスメックス サステナビリティデータブック 2022



シスメックスレポート 2022 (統合報告書)

「第10回神戸マラソン」を応援

2022年11月に開催された「第10回神戸マラソン」に特別協賛しました。シスメックスは、第1回より継続して特別協賛しています。第10回大会は、二度の延期を経て無事に開催されました。



「株主様会社見学会」開催見送りのお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「株主様会社見学会」の開催を、今年も見送ることとなりました。楽しみにお持ちいただいていた株主様には大変申し訳ありませんが、再開の機会をお待ちくださいますようお願いいたします。

会社概要

(2022年9月30日現在)

■商号	シスメックス株式会社 SYSMEX CORPORATION
■設立年月日	1968年2月20日
■資本金	141億9,434万円

■格付け	AA- (R&I: 格付投資情報センター)
■従業員数	10,280名(連結) 3,129名(単独) *嘱託・パートタイマーなどを含む
■主な事業内容	臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	6月
■基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日

その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

■公告方法

当会社の公告方法は、電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告掲載ホームページアドレス
www.sysmex.co.jp/ir/stocks_bonds/notice.html

お知らせ

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

